



International Geography Olympiad 2025 BANGKOK

国際地理オリンピックに ようこそ!

国際地理オリンピック日本委員会公式サイト

<https://japan-igeo.com/>

[第19回] 科学地理オリンピック日本選手権 および
[第21回] 国際地理オリンピック日本代表選抜大会



主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、一般社団法人 人文地理学会、東北地理学会、地理科学学会、立命館地理学会、公益社団法人 東京地学協会、一般社団法人 日本地図センター、一般財団法人 地図情報センター、日本地図学会、一般社団法人 地理情報システム学会、経済地理学会、地域地理科学会

協賛：帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック、スポーツショップ クラブライフ湘南

国際地理オリンピックは 「地理力」競う

地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU（国際地理学連合）の総会（プラハ：チェコ）で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、19回の世界大会と3回の地域大会（アジア・太平洋地域）が行われました。そして2025年にはバンコク（タイ）で第21回国際地理オリンピック iGeo Bangkok 2025が行われます。

国際地理オリンピック（世界大会）

第1回大会	1996年	ハーグ：オランダ
第2回大会	1998年	リスボン：ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル：韓国
第4回大会	2002年	ダーバン：南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グディニア：ポーランド
第6回大会	2006年	ブリスベン：オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ：チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ：台湾
第9回大会	2012年	ケルン：ドイツ
第10回大会	2013年	京都：日本
第11回大会	2014年	クラクフ：ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ：ロシア
第13回大会	2016年	北京：中国
第14回大会	2017年	ベオグラード：セルビア
第15回大会	2018年	ケベック：カナダ
第16回大会	2019年	香港：中国
第17回大会	2020年	イスタンブール：トルコ（中止）
第17回大会	2021年	イスタンブール：トルコ（オンライン開催）
第18回大会	2022年	パリ：フランス（オンライン開催）
第19回大会	2023年	バンドン：インドネシア
第20回大会	2024年	ダブリン：アイルランド

地域地理オリンピック（地域大会）

第1回大会	2007年	シンチュー：台湾
第2回大会	2009年	つくば：日本
第3回大会	2011年	メリダ：メキシコ

国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

◆記述式テスト（WRT）

さまざまな地理的な事象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

◆マルチメディアテスト（MMT）

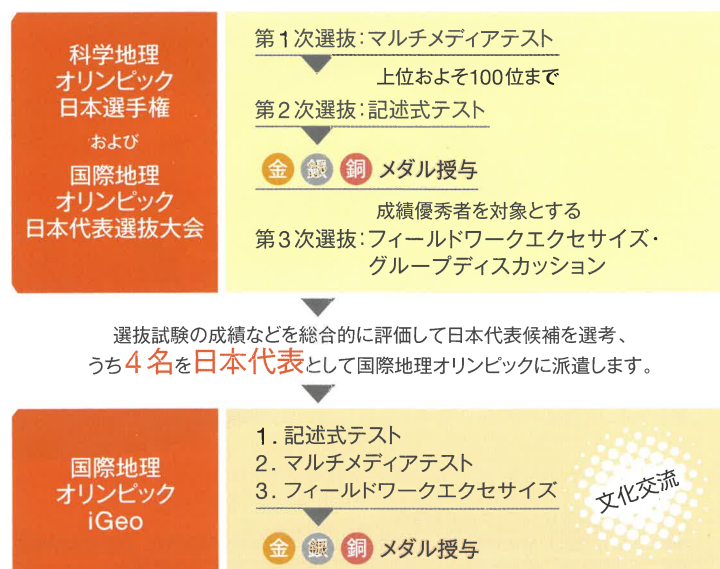
地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な事象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

◆フィールドワークエクセサイズ（FWE）

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な事象や地域のように、観察した景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問題で求められていることを的確に表現しなければなりません。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック（世界大会）ではすべて英語で出題され、英語での解答が必要です。（辞書の持ち込みは可）そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも大切な目的の一つです。世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは「地理オリンピック」ならではの国際理解です。





第21回 国際地理オリンピック iGeo Bangkok 2025

会期 2025年8月(予定)

会場 バンコク(タイ)およびその周辺



地理オリンピック ガールズトーク



「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことはありません。世界では女子選手が活躍しています。世界大会出場のOG2人と引率教員2人が、オンラインで国際地理オリンピック大会について語り合いました。

飯田 菜未さん(茨城県立土浦第一高等学校出身、東京大学卒、プラントエンジニアリング業界の事務系総合職、2019年香港大会出場)

平賀 美沙さん(桜蔭高等学校出身、東京大学・同大学院卒、大手建設会社で土木技術者として活躍中、2013年京都大会出場)

井上 明日香先生(神奈川県立希望ヶ丘高等学校教諭、2019年香港大会ほか引率教員)

林 靖子先生(獨協埼玉中学高等学校教諭、2021年イスタンブール大会(オンライン開催)ほか引率教員)



林: はじめに、飯田さんと平賀さんが、国内選考を受験したきっかけを教えてくださいませんか？

飯田: もともと地理がすごく好きというわけではなかったのですが、高校の時の担任の先生が地理の先生で、その先生に薦められました。

平賀: 高校の地理の授業が面白くて、それで自分でいろいろ勉強をしているうちに、この大会のことを知り受験しました。

林: どのような対策をして国内・世界大会に臨みましたか？

飯田: 地理の問題集や日々の授業を大事にしていました。世界大会に向けては、強化研修会で多くを学びました。

平賀: 私は理系ですが、地理の大学入試問題を解くほかに、図書室で地形図や都市地理学の本など、フィールドワークに活かせるようなものを借りて読んでいました。世界大会に向けては、英語の単語を自分でまとめたり、強化研修会でいただいた本を読んだりしていました。



林: 世界大会では、他国の女子選手とどのような交流がありましたか？

飯田: 大会中、香港とルーマニアの選手と相部屋で、お土産の交換をしました。

平賀: 私は台湾の選手と同室でした。お互いメダルを獲得して、抱き合って喜んだ思い出があります。シンガポールの選手とは、大会後、私がシンガポールに行った時に案内をしてくれて、彼女が日本に来た時は、私が案内をしました。



井上: 今の生活で、地理オリンピックの経験が役立っていると思うことはありますか？

飯田: 世界大会に行くと、地理により興味を持ちましたし、自分の英語力をもっと磨かなきゃと思ったので、今、大学の授業で地理や英語に関するものを履修しています。江戸時代の名所を文献から調べてまとめる授業では、ここはこういう地形だからこういう建物なのかなとか、地理学的な視点で考えることができています。



平賀: 大学では土木学科に入り、授業の中で地形図をみて歴史を考えるとということが求められましたが、地理オリンピックのおかげで、私はそれが得意な方で良かったです。また、旅行に行っても、この道は昔からあるのかななど、今見えているものの背景を考えながら歩くことができて、その基礎は地理オリンピックを通して学んだことにあっていると思います。

井上: やったことが活かしているのは、私たちスタッフも嬉しいです。

林: 最後に、これから地理オリンピックを受験しようとしている女子中高生へメッセージをお願いします。

飯田: 地理に限らず科学オリンピックは、男子が多いイメージかもしれませんが、気負わずに受けてほしいなと思います。世界大会に行くと、4人中全員女子という国もあるので、皆さんにチャレンジしてもらいたいです。女子ならではの視点というもの、大事だと思います。

平賀: 気軽に楽しく受けて良いと思います。代表にならなくても、試験を通して身につけたことをいかして、地理をいかした仕事に携わる人が増えるといいなと思います。

井上: 性別に関係なく興味を持ったら受験してほしいですね。



テストの様子(京都大会より)



記述式テスト



国際大会では英語で解答します



フィールドワークエクセサイズ



現地での景観観察



観察事項をまとめる



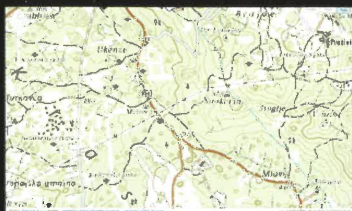
現地での課題説明

科学地理オリンピック(国際地理オリンピック)の国内選抜試験で出題された問題を紹介します

マルチメディアテスト(MMT)

第1次選抜試験 問題例

Q44 Which term is closely related to the topography?



http://www.geopedia.si/#T105_x413498_y60638_s15_b4

- ① Carbonation ② Oxidation
- ③ Frost shattering ④ Salt weathering

この地形に密接に関係する語句はどれか。

- ① Carbonation
- ② Oxidation
- ③ Frost shattering
- ④ Salt weathering

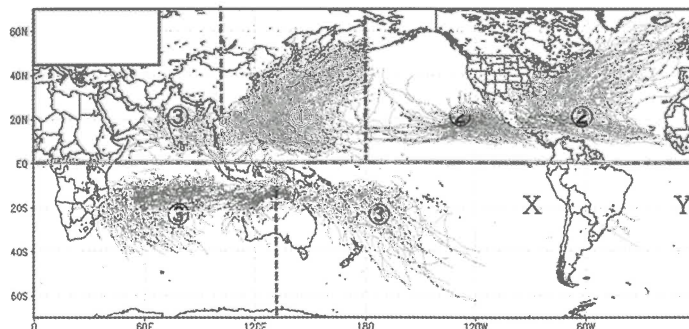
解答 ①

第1次選抜試験では50問中10問が英文での出題です。これは外国の地形図から地形形成の要因を解答させる問題です。小さな凹地がみられることからカルスト地形と判断し、その地形の形成すなわち石灰岩の溶食に関する言葉を解答します。

記述式テスト(WRT)

第2次選抜試験 問題例

(1)図B1は世界の熱帯低気圧の経路(2000～2011年)を示している。図B1のXとYの海域では、同緯度付近の他の海域と比べると熱帯低気圧がほとんど発生していない。XとYに共通する熱帯低気圧が発生しない理由を説明しなさい。



図B1 ①は台風、②はハリケーン、③はサイクロンの海域を示す。

(<http://www.fudeyasu.ynu.ac.jp/member/thesis/2013-hiroses/hirose2014.html>)

解答例

寒流が低緯度まで北上する海域であり、低緯度のわりに低温の海水域のため、海からの水蒸気の供給が少ないから。

◆募集要項

参加資格

2024年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手(4名)は、2025年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、第1次・第2次選抜試験までの国内大会には参加できますが、世界大会代表の選抜対象にはなりません。

選抜について

■第1次選抜 2024年12月14日(土)

会場：オンライン受験のため会場は設けません。

方法：マルチメディアテスト

スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は50分です。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

受験上の注意：第1次選抜では、配信された問題を見て、オンラインで解答する方法をとります。

詳細は受験票に掲載します。スマートフォンでも受験可能ですが、問題の性質上、比較的画面の大きいタブレットもしくはPCを使って受験することをお勧めします。本委員会では機器の貸し出し等は致しません。なお、学校管理者の了承があり、担当の先生が責任を持って試験を実施していただける場合は、学校のコンピュータ教室等で受験することも可能です。担当の先生に問い合わせてください。

■第2次選抜 2025年2月16日(日)

会場：東京・大阪など全国9カ所程度を予定。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。感染症の拡大など、状況によってはオンラインで実施する可能性があります。

方法：記述式テスト

地図・資料などの読解を中心にした記述式テスト。問題の約2割は英語による出題で、辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は120分です。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績上位(約10名)が第3次選抜試験に進むことができます。(世界大会出場資格がない者は3次選抜試験の対象になりません。)テストの結果は、後日、個人宛てに通知します。

■第3次選抜 2025年3月8日(土)・9日(日)

会場：近畿地方で実施予定。

感染症の拡大など、状況によってはオンラインで実施する可能性があります。

内容：フィールドワークエクセサイズ・グループディスカッション

フィールドワークエクセサイズ：フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。グループディスカッション：地理に関連したテーマについて議論。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2025年8月(予定)にバンコク(タイ)で開催予定の第21回国際地理オリンピックに派遣します。

問題について

過去の問題の一部は、国際地理オリンピック日本委員会のWebページ(<https://japan-igeo.com>)で閲覧することができます。

『地理オリンピックへの招待・第2版—公式ガイドブック・問題集—』(古今書院)も参考にしてください。

参加申込みについて

申込期間：2024年9月1日(日)
～11月15日(金)23:59まで

申込み方法：WEBエントリー

申込み専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)からWEBでエントリーします。個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」があります。なお、いずれの場合も応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを忘れないようにお願いします。

「個人申込み」

申込み専用ページから各自WEBエントリーしてください。

「学校申込み」

学校で一括して申し込むことができます。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお願い〉

担当する先生がWEB申込専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)にアクセスし、参加者情報入力シートに記入の上、アップロードしてください。なお、学校のコンピュータ教室等でまとめて受験させる場合で、会場の使用許可が必要な場合は事務局にお申し出ください。

大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、コンピュータ等の機材や通信費等は受験者の負担となります。

国際地理オリンピックは大学の総合選抜型入試(AO入試)等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を、特別入試の対象としている大学があります。

【受験に際しての注意事項】

- 第1次試験はComputer Based Testing(CBT、コンピュータとインターネットを用いた試験形式)ですが、あくまでも通常の試験会場で行われる試験と同様の条件で行われます。
- 自身の周辺に置いて良いものは、計算用紙、鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、紙媒体の英和・和英辞典です。
- 解答時に参考となる教科書・参考書・辞書類の使用は認められません。問題の解答を他者に相談・聞くなど、他の人に助けを求める行いも禁止です。
- 試験中にWebを通じた検索や、試験中でのSNSを介した他者との連絡など、インターネットを本来の試験の意図から外れて使用することは不正行為となります。
- 受験上の不正行為が発覚した場合、第19回科学地理オリンピック日本選手権の参加資格・権利の全てを失います。
- 試験開始にあたり、不正防止に関する宣誓をして頂きます。
- なお、第2次試験、第3次試験がオンラインで行われる場合も同様です。

WEB申し込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

参加申し込みに関するお問い合わせは

☎ 科学オリンピック共通事務局へ

・TEL 042-646-6220(平日12:00～13:00/17:00～19:00)

・E-mail info@contest-kyotsu.com

個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会(以下、「主催者」という)が主催しています。ご提供いただく個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」においては、参加申込みに際して提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権

および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供するにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。

3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。国際地理オリンピック日本委員会実行委員会

実行委員長 井田 仁康
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
事務局 滝沢 由美子

6. 個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル

公益社団法人 日本地理学会 事務局 気付

国際地理オリンピック日本委員会 事務局

E-mail: geolympiad@ajg.or.jp



2023年8月に
バンドンで行われました

第19回 国際地理オリンピック iGeo Bandung 2023

代表選手・引率教員からのメッセージ

世界大会はテストではありません。
ポスタープレゼンテーションや文化交流・エキスカーション
など多彩なプログラムが用意されています。

「地理学」とはどんな学問でしょうか？地理学は人間と自然のかかわりを扱う学問で、物理学や地学から、政治学、経済学、社会科学まで、様々な学問と密接に関係しています。したがって、地理を学ぶことで世界が広がる、そして地理は世界における諸問題に立ち向かうための武器となる、といえるわけです。地理オリンピックでは学校の授業や受験勉強の枠に囚われず、地理を通して世界をどう捉えるか、そして問題をどう解決するか、といったことが問われます。国際大会では英語を使って国際交流も経験できます。地理が好きな方も特にそうでない方も、ぜひ挑戦してみてください。待ち受ける問題は、きっとあなたの知的好奇心を刺激し、世界を広げてくれるでしょう。

日本代表選手 石井 智貴(灘高等学校2年)

「地理？ただの暗記科目じゃん」「地図読むだけでしょ？なんか意味あるの？」それは大間違いです！

地理学は現代社会のあらゆる物事に密接に関わり、同時にどんなことの知識も活かせる学問です。

毎日通る道、遠い国のニュース、旅先の美しい風景…地理を学ぶと身の周りのあらゆる物事が違って見えてくるでしょう。

そんな奥深い地理学の世界に、無料で、たった1時間で触れられるのが地理オリンピックです。全国、そして世界の同年代の猛者たちと交流できるチャンスさえもあります。

どうでしょう、ちょっとやってみたくありませんか？これは中高生の今しかできない経験です。「自分にはできなさそう」なんて思う必要は全くありません！

日本代表選手 井上 尚多朗(広島学院高等学校2年)

地理は、一方では果てなく遠くにいる誰かのことを知ろうとする学問であり、また一方では隣人や自分自身のことを知ろうとする学問でもあります。教室を飛び出して、そんな地理の深淵を見ることができなのが、地理オリンピックです。自分の足で歩いた街の未来の為の政策を考え、地球上の問題を多角的に捉え、自分の国の文化を言葉で伝える。知識だけではない地理的な考え方が国内予選でも国際大会でも重要視されます。また、広大な出題範囲の地理オリンピックではひとりひとりが持っているあらゆる能力を活かせる可能性があります。さあ、青春をかけて地理ができる最高で最大の祭典に、あなた自身の好きなことを武器にして挑戦してみませんか。

日本代表選手 田中 穰(東京都立桜修館中等教育学校6年)

私は、今回地理オリンピックを初めて受験して、なんと国際地理オリンピックにまで出場することができました。このポスターを読んでいるあなたにも、とりえず一次選抜を受けてもらいたい。なぜなら、国際大会という素晴らしい舞台に行けるかもしれないからです。国際大会で世界の様々な国からやってくる様々な選手と英語で交流し、一週間もの間一緒に行動するという経験は、普通に生きている上では得難く、忘れられない物になると思います。勿論地理が好きな人は、自分の実力を試すつもりで受けてみるのもいいと思います。国際大会は当然ながら、国内選抜でも解きごたえのある問題が待っています。——とりえず試験を受けてみましょう、無料ですから。

日本代表選手 辻 昂太郎(ラ・サール高等学校3年)



日本代表集合写真(表彰式)



エキスカーションの様子



ポスタープレゼンテーション



文化体験の様子



新型コロナウイルスの流行により、中止やオンライン開催(イスタンブール大会、パリ大会)が続きましたが、バンドン大会は久しぶりに対面で実施することができました。世界45の国・地域から177名の高校生が集まり、記述式・フィールドワーク・マルチメディアの3つのテストで地理的な技能や思考力を競い合いました。フィールドでの事象には、地形、植生、地質、歴史、文化、経済、気候などさまざまな要因が複雑に絡み合っています。フィールドワークでは、自分の足で歩き、その場の空気を感じながら、地図作成などを通して複雑さを丹念に解きほぐしていきます。体力だけでなく、幅広い知識、柔軟な発想力も必要ですが、知的好奇心と粘り強さが大切です。今まで地理で学んだスキルと知的好奇心を活かし、地理オリンピックに挑戦してみましょう。

日本代表引率教員 新井 教之(京都教育大学附属高等学校)

地理は本当に楽しい学問ですね。興味関心を元に日々学んできた成果を地理オリンピックに挑戦することで試してみてください。国際大会に出場すると、さらに奥深く幅広い地理の世界が広がっています。世界各国から集まった「地理マニア」達と競い合うだけでなく、ポスター発表や文化交流を通して友人となり語り合うことができます。文化交流会の後には各国の選手たちが自然に集まって写真を撮り合います。その様子を見ると、新たな気付きがありました。「ブラジルとポルトガルの選手たちが一緒にいるのはなぜ？」「セルビアとモンテネグロとボスニア・ヘルツェゴビナの選手たちがワイワイ話しているけど何語で話しているのだろう？」。教科書だけでは得られない学びがそこにあります。

日本代表引率教員 新 友一郎(兵庫県立古川東高等学校)